

意見交換会の現状と参加者の主な意見

1. 意見交換会の現状

パネルディスカッション方式での総合的な意見交換会と小グループでの討論を中心とするラウンドテーブル方式での意見交換会の実施

- ・情報の共有を主眼とした総合的な意見交換会について、主としてパネルディスカッション方式で実施しているほか、農薬等のポジティブリスト制度など個別課題について、小グループでのより深い議論に主眼をおいたラウンドテーブル方式で意見交換会を実施

意見交換会の参加者（アンケート回答者における平均）

消費者	食品等事業者	マスコミ関係	地方公共団体	その他
22.2 %	34.6 %	0.7 %	23.2 %	19.4 %

参加者の理解度、満足度（アンケート回答者における平均）

	できた	おおむねできた	あまりできなかった	できなかった
理解度	17.0 %	62.8 %	13.2 %	0.9 %
満足度	8.4 %	53.3 %	20.9 %	2.5 %

参加者の様々な印象

- ・「食品の安全について勉強になった」、「様々な立場の人の意見が聞けて良かった」、「意見交換できて良かった」等の意見がある一方で、「質疑応答で意見交換になっていない」、「立場の違う者による意見表明で終わってしまっている」等の意見もある。

2. 意見交換会参加者の主な意見（詳細は別添参照）

意見交換の企画

- ・テーマ・ポイントを絞った意見交換
- ・パネリストの適切な選定
- ・少人数、対象を絞った意見交換会の開催
- ・開催回数を増やす

意見交換会の開催の周知（一般消費者、女性の参加者の増加）

意見交換会の内容、議事運営

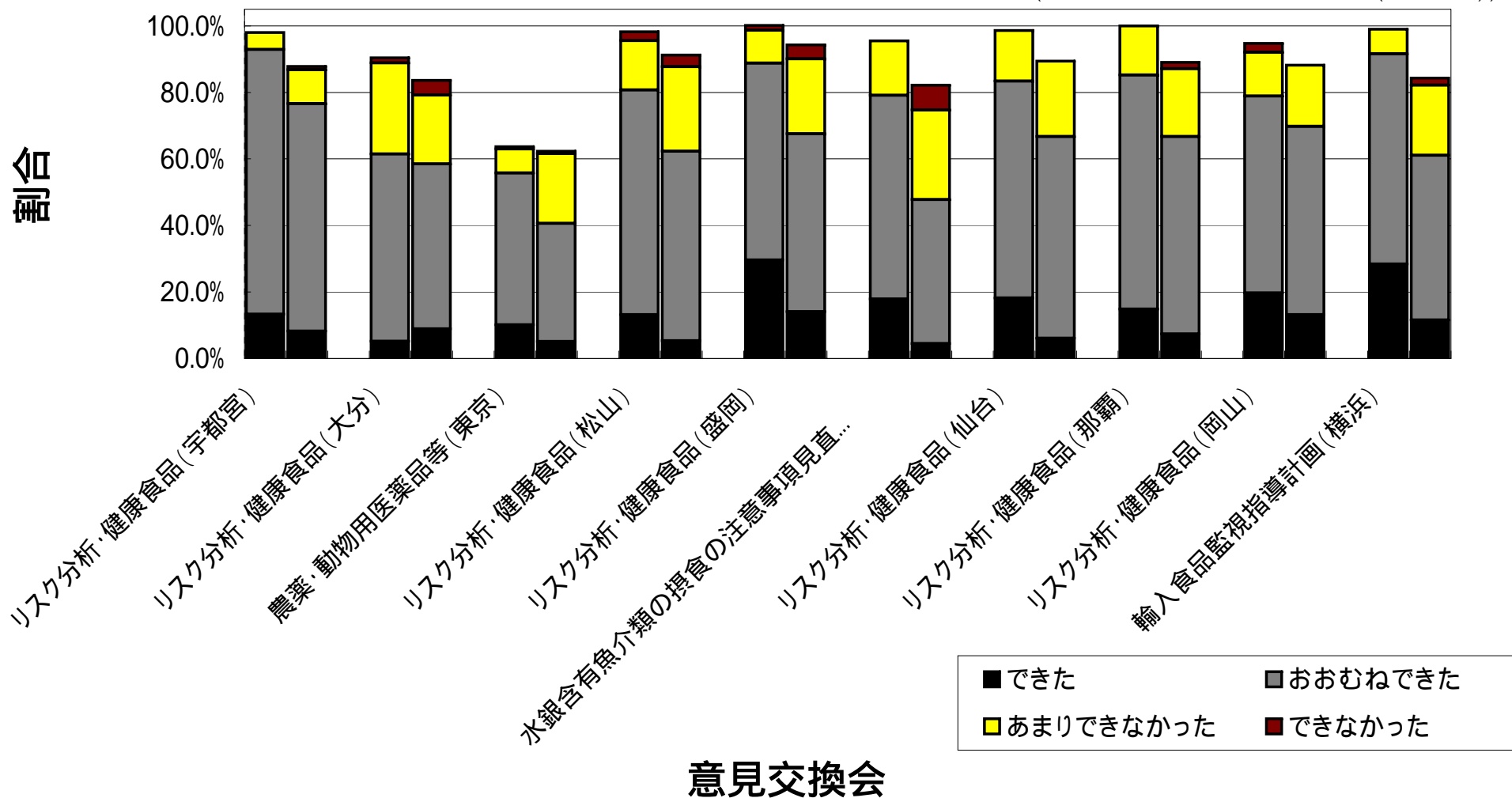
- ・分かりやすい説明（専門用語を分かりやすく、資料の内容）
- ・テーマ・ポイントを絞った意見交換
- ・具体的、簡潔な説明
- ・単なる質疑応答となっている

意見交換会に使用する資料

- ・事前配付してほしい

説明に対する理解度及び意見交換会の満足度 に関するアンケート結果

(平成16年度・12月までの開催分(BSE除く))



グラフ注: 左側が説明に対する理解度、
右側が意見交換会の満足度である。

平成16年度 食の安全に関する意見交換会アンケート集計結果

	宇都宮 4月26日	大分 5月19日	東京 6月30日	松山 8月6日	盛岡 9月7日	東京 9月17日	仙台 9月30日	那覇 10月13日	岡山 11月24日	横浜 12月3日	合計
参加人数 (人)	160	263	164	187	95	143	188	112	132	195	1,639
アンケート回答者数 (人)	98	135	138	114	71	67	66	54	76	95	914
回答率 (%)	61.3%	51.3%	84.1%	61.0%	74.7%	46.9%	35.1%	48.2%	57.6%	48.7%	55.8%

ご自身について、ご回答ください。

	宇都宮	大分	東京	松山	盛岡	東京	仙台	那覇	岡山	横浜	合計
1 消費者	23	51	6	41	13	6	14	6	22	21	203
2 食品等事業者	34	34	78	29	14	43	13	15	20	36	316
1 農林水産業	2	2	3	1	1	3	0	0	2	2	16
2 製造・加工業	23	27	51	20	7	11	7	12	14	13	185
3 卸売業	1	0	7	1	0	15	1	1	2	3	31
4 小売業	2	2	5	4	2	3	2	0	0	5	25
5 業界団体	2	1	6	2	1	9	3	1	0	2	27
6 輸入者										9	9
7 その他	4	2	6	1	3	2	1	1	2	2	24
3 マスコミ関係	0	0	4	0	0	0	0	0	0	2	6
4 地方公共団体職員	26	35	16	23	30	6	19	20	22	15	212
5 その他	15	15	34	21	14	12	20	13	12	21	177

本日の食の安全に関する意見交換会に参加された目的は次のどれですか。(当てはまるものを全て)

	宇都宮	大分	東京	松山	盛岡	東京	仙台	那覇	岡山	横浜	合計
厚生労働省の食品安全行政の取組の内容を知るため	35.7%	35.6%		50.0%	47.9%		54.5%	57.4%	51.3%		
食品安全基本法の内容、食品安全委員会の運営等について知るため	34.7%	36.3%		44.7%	35.2%		42.4%	42.6%	32.9%		
農林水産省の食の安全・安心に向けた取組の内容を知るため	29.6%	28.1%		39.5%	33.8%		48.5%	37.0%	28.9%		
リスクコミュニケーションの取組について知るため	62.2%	44.4%	8.7%	48.2%	62.0%	47.8%	48.5%	46.3%	39.5%	32.6%	
常日頃から抱えている食品の安全性に係る意見を行政に表明するため	6.1%	7.4%		12.3%	8.5%		12.1%	5.6%	7.9%		
健康食品についての知識を深めるため	19.4%	0.0%		30.7%	29.6%		19.7%	55.6%	22.4%		
食品中に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組の内容を知るため			57.2%								
ポジティブリスト制導入の取組に係る意見を表明するため			3.6%								
水銀を含有する魚介類等の摂食に関する妊婦等への注意事項の見直しの内容を知るため						70.1%					
水銀を含有する魚介類等の摂食に関する妊婦等への注意事項の見直しについて意見を表明するため						7.5%					
輸入食品の安全性確保に関する取組の内容を知るため										82.1%	
輸入食品の安全性確保に関する取組について意見を行政に表明するため										4.2%	
その他	1.0%	5.2%	5.1%	3.5%	5.6%	10.4%	9.1%	5.6%	2.6%	4.2%	

演者からの説明についてお伺いします。その説明内容について、十分に理解することができましたか。

	宇都宮	大分	東京	松山	盛岡	東京	仙台	那覇	岡山	横浜	平均
1 できた	13.3%	5.2%	10.1%	13.2%	29.6%	17.9%	18.2%	14.8%	19.7%	28.4%	17.0%
2 おおむねできた	79.6%	56.3%	45.7%	67.5%	59.2%	61.2%	65.2%	70.4%	59.2%	63.2%	62.8%
3 あまりできなかった	5.1%	27.4%	7.2%	14.9%	9.9%	16.4%	15.2%	14.8%	13.2%	7.4%	13.2%
4 できなかった	0.0%	1.5%	0.7%	2.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.9%

本日の意見交換会についてお尋ねします。意見交換は分かりやすく、議論の内容等について理解できましたか。

	宇都宮	大分	東京	松山	盛岡	東京	仙台	那覇	岡山	横浜	平均
1 できた	10.2%	6.7%	7.2%	14.9%	14.1%	9.0%	13.6%	13.0%	18.4%	21.1%	12.8%
2 おおむねできた	63.3%	60.7%	39.1%	67.5%	49.3%	58.2%	62.1%	63.0%	56.6%	51.6%	57.1%
3 あまりできなかった	10.2%	20.0%	16.7%	7.9%	21.1%	23.9%	15.2%	18.5%	10.5%	12.6%	15.7%
4 できなかった	0.0%	1.5%	0.0%	2.6%	2.8%	4.5%	1.5%	0.0%	1.3%	0.0%	1.4%

本日の意見交換会の内容についてお尋ねします。満足できましたか。

	宇都宮	大分	東京	松山	盛岡	東京	仙台	那覇	岡山	横浜	平均
1 できた	8.2%	8.9%	5.1%	5.3%	14.1%	4.5%	6.1%	7.4%	13.2%	11.6%	8.4%
2 おおむねできた	68.4%	49.6%	35.5%	57.0%	53.5%	43.3%	60.6%	59.3%	56.6%	49.5%	53.3%
3 あまりできなかった	10.2%	20.7%	21.0%	25.4%	22.5%	26.9%	22.7%	20.4%	18.4%	21.1%	20.9%
4 できなかった	1.0%	4.4%	0.7%	3.5%	4.2%	7.5%	0.0%	1.9%	0.0%	2.1%	2.5%

今後の厚生労働省のリスクコミュニケーションとして行ってほしい取組は？(当てはまるものを全て)

	宇都宮	大分	東京	松山	盛岡	東京	仙台	那覇	岡山	横浜	平均
1 特定トピックに限った意見交換	24.5%	14.8%	34.1%	34.2%	35.2%	23.9%	34.8%	22.2%	32.9%		28.5%
2 特定トピックについての各層有識者によるシンポジウム	18.4%	18.5%	21.7%	25.4%	43.7%	35.8%	30.3%	27.8%	31.6%		28.1%
3 食品の安全性に関する平易かつ基礎的な情報の勉強会	54.1%	51.1%	26.1%	55.3%	32.4%	53.7%	39.4%	42.6%	44.7%		44.4%
4 専門家でない著名人による食品安全行政への感想・提言・コメント	14.3%	17.0%	3.6%	23.7%	11.3%	9.0%	12.1%	3.7%	15.8%		12.3%
5 その他	3.1%	5.2%	4.3%	0.9%	5.6%	3.0%	6.1%	0.0%	1.3%		3.3%

取り上げてほしいトピックは何ですか。(当てはまるものを全て)

	宇都宮	大分	東京	松山	盛岡	東京	仙台	那覇	岡山	横浜	合計
食品中に混入する汚染物質の問題	14.3%	12.6%	17.4%	31.6%	26.8%	32.8%	21.2%	11.1%	27.6%	23.2%	21.9%
食中毒に関する問題	8.2%	8.1%	8.0%	12.3%	12.7%	9.0%	13.6%	3.7%	13.2%	9.5%	9.8%
検疫所や保健所の監視指導に関する問題	11.2%	7.4%	17.4%	7.0%	11.3%	22.4%	15.2%	9.3%	15.8%		13.0%
健康食品に関する問題(表示を含む)	11.2%	12.6%	14.5%	19.3%	19.7%	20.9%	16.7%	27.8%	11.8%	27.4%	18.2%
遺伝子組換え食品に関する問題(表示を含む)	9.2%	12.6%	10.9%	30.7%	32.4%	22.4%	19.7%	20.4%	23.7%	26.3%	20.8%
食品添加物に関する問題(表示を含む)	17.3%	12.6%	20.3%	36.0%	21.1%	29.9%	25.8%	24.1%	26.3%	35.8%	24.9%
輸入食品に関する問題(表示を含む)	23.5%	13.3%	26.1%	30.7%	39.4%	32.8%	33.3%	18.5%	23.7%	17.9%	25.9%
残留農薬、残留動物用医薬品に関する問題(表示を含む)	22.4%	21.5%	26.8%	33.3%	31.0%	26.9%	25.8%	16.7%	32.9%	36.8%	27.4%
その他の食品の表示に関する問題	12.2%	6.7%	12.3%	7.9%	12.7%	13.4%	13.6%	3.7%	6.6%	24.2%	11.3%
食品の安全性に関する基礎的な情報										29.5%	
その他	4.1%	0.0%	8.7%	0.0%	2.8%	4.5%	9.1%	0.0%	3.9%	7.4%	4.1%

リスクコミュニケーションアンケート集計結果 (意見交換会の進め方について、改善すべきと思う点)

平成15年9月26日開催：金沢市

(食品衛生法の改正や食品添加物についての意見交換会)

改善すべきと思う点

- ・半日の会合としては、内容を詰め込みすぎ。時間内に終わらせてほしい(消費者、食品等事業者)
- ・意見交換の時間が短い(消費者、食品等事業者、地方公共団体職員、その他)
- ・厚生労働省の説明時間が短く、食品衛生法の内容が理解しにくい(消費者)
- ・消費者、生産者、流通業者の方に分けて集中的に議論したほうが良い(消費者)
- ・もっと少人数で、回数を増やして行うほうが良い(食品等事業者、地方公共団体職員)
- ・有識者の講演は大変興味深かったが、もう少し掘り下げて話してほしい(地方公共団体職員)
- ・意見交換が散漫になっていた。しっかりしたテーマが必要ではないか(地方公共団体職員)
- ・講演者等にもっと女性を参加させるべき(地方公共団体職員)
- ・他府庁ともっと連携をとってテーマを考えてほしい(地方公共団体職員)
- ・消費者団体等の方の意見が長すぎる(その他)

平成15年10月31日開催：札幌市

(食品衛生法の改正や食品添加物についての意見交換会)

改善すべきと思う点

- ・説明内容等が沢山あり、後の議題にしわ寄せが回ってくる。時間配分を考えてほしい(消費者、食品等事業者、その他)
- ・説明が早すぎる。情報量が多いため分からない部分もあった(消費者、食品等事業者)
- ・行政からの説明が長すぎる。意見交換の時間が短い(消費者、食品等事業者)
- ・女性の出席者が少ない(消費者)
- ・有識者の講演をもう少し聴きたかった(消費者、食品等事業者、その他)
- ・パネラーが多すぎる(消費者)
- ・意見交換の進め方が分からない(食品等事業者)
- ・意見交換の開催について、知らない人が多い(消費者)
- ・消費者パネラーが少ない(消費者)
- ・行政からの説明は資料を読んでいるだけ、もっと肉付けしてほしい(食品等事業者)
- ・行政からの説明は、各府省連携が取れていないのもっと連携を取り、内容を絞ってほしい(その他)
- ・会場からの意見をもっと採りやすくしてほしい(その他)
- ・カタカナ用語、専門用語が分かるようにしてほしい(その他)

平成15年11月18日開催：仙台市

(食品衛生法の改正や食品添加物についての意見交換会)

改善すべきと思う点

- ・会場から意見を挙げる時間がなかった(消費者)
- ・事前質問の回答も分かるが、時間の取り方に問題がある(消費者)
- ・多方面の人の意見をもっと出してそれを議論してほしい(消費者)
- ・行政からの話を聞いて不安になった(消費者)
- ・これからも消費者、事業者がよく話し合え、理解してもらえるように努力してほしい(食品等事業者)
- ・参加者自身ももっと問題意識を持ってくれば、なお良いと実感した(食品等事業者)
- ・行政からの説明が短い(食品等事業者)
- ・内容が多く、テーマ・ポイントを絞ったほうが良い(食品等事業者、地方公共団体職員)
- ・対象ターゲットを適切に選定すべき(食品等事業者)
- ・リスクコミュニケーションは一方的で一部のトップクラスで理解しているように思う(食品等事業者)
- ・行政と消費者団体との意見に集約されている(食品等事業者)

- ・加工、流通等に関する意見、コストと安全性を視野に入れた意見を寄せてもらう必要がある。
- ・パネリストにマスコミ関係者がほしい（食品等事業者）
- ・改正法の各分野の説明をしてほしかった（食品等事業者）
- ・食の安全のキーとなる事業者が無視されているように感じた（食品等事業者）
- ・事前にテーマを集めるのではなく、会場からテーマを募集してほしい（食品等事業者、地方公共団体職員、その他）
- ・単なる質疑応答で、意見交換になっていない（地方公共団体職員）
- ・行政説明は長すぎる。不要である（地方公共団体職員）
- ・事前質問は直接本人に回答すればよい（地方公共団体職員）
- ・100%安全な食品はないということを教えるべき（地方公共団体職員）
- ・リスクコミュニケーションの概念より、具体的内容について話してほしかった（地方公共団体職員）
- ・時間をしっかり守ってほしい（地方公共団体職員）
- ・食の安全の確保という点から世界の中の日本のレベルを取り上げるべき（その他）
- ・一般消費者、学生等が参加できるように考えるべき（その他）

平成15年12月5日開催：福岡市

（食品衛生法の改正や食品添加物についての意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・資料の字が小さい上、書き込みできるスペースが無かった（消費者）
- ・資料を事前に配付して予習させてもらえたら、もっと理解できたと思う（消費者）
- ・時間が短いためか、行政の話は早口で聞き取りにくかった（消費者）
- ・内容の割には時間が短い。説明が省略されてしまうのが残念（消費者、食品等事業者、地方公共団体職員、その他）
- ・行政の取組で終わっていた（消費者）
- ・全国の県庁所在地での開催を望む。市町村等の担当者とのリスコミをしたい（消費者）
- ・パネリストが多すぎる（消費者、地方公共団体職員）
- ・テーマの選定には賛否両論、意見交換できるものが良い（消費者）
- ・地方自治体における指導、行動について報告してほしかった（消費者）
- ・内容を詰め込み過ぎ、一度に沢山の話をきくのは大変（消費者）
- ・意見交換会の時間をもう少し確保してほしい（消費者、食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・資料は食に興味のある人用のもので専門用語が多い（消費者、地方公共団体職員）
- ・食の安全に関して消費者だけの意見、アンケート等がほしい（食品等事業者）
- ・自由な意見が出やすい進行の仕方やテーマ設定を考えてほしい（食品等事業者）
- ・生産、製造、加工、流通、販売、消費者など、各代表を揃えるべき（食品等事業者）
- ・テーマを絞って時間を掛けて説明してほしい（食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・内容が包括的である、具体的な話をしてほしい（食品等事業者）
- ・消費者教育をもっとするべき。クレームを受けるに当たって無知な人が多すぎる（食品等事業者）
- ・農薬問題について触れてほしかった（地方公共団体職員）
- ・行政、消費者等が混在していたが、今後は分けてやったほうが良い（地方公共団体職員）
- ・一般消費者の参加が少ない（地方公共団体職員、その他）
- ・終了時間は厳守してほしい（地方公共団体職員）
- ・行政、消費者、事業者等を含め、より具体的な検討テーマを絞った意見交換会をしてほしい（地方公共団体職員）
- ・開催回数を増やすべき（その他）
- ・申込みをメールで受け付けてほしい（その他）

平成16年4月26日開催：栃木県宇都宮市

（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・人の多い中では発言しにくい（消費者）

- ・効率性、簡便性でできた食生活に「問題がある。行政はスローガンだけではなく現実的な取組をしてほしい（消費者）
- ・意見交換というより質疑応答になっていた。メーカー、消費者の分かりやすい意見や質問内容のほうが良かった（消費者）
- ・一般消費者でも参加できるレベルにしてほしい（消費者）
- ・健康食品の話じゃなくて意見交換会に時間をかけたほうが良かった（消費者）
- ・今回のような取組をもっと一般的に分かりやすいお知らせしてほしい（消費者）
- ・パネリストが多いため、一人一人の時間が短い。もっと話を聞きたかった（消費者）
- ・消費者、事業者、生産者などの意見の違いを聞いてみたい（消費者）
- ・このような取組をもっとPRする必要がある（消費者）
- ・説明内容をもっと簡単に説明してほしい（消費者）
- ・受付で意見を出せるシステムにしてほしい（消費者）
- ・パネルディスカッションで中々意見が出なかった。分科会等の少人数グループでの意見交換会をやったらどうか（消費者、食品等事業者）
- ・資料を事前に配付してほしい（食品等事業者）
- ・専門用語の簡単な解説書を添付してほしい（食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・事前質問の回答についてはデータを示しながら説明してほしい（食品等事業者）
- ・よくまとまっている会議であるが、より多くの人に理解されるように一層の改善が必要である（食品等事業者）
- ・まだまだ縦割り行政である。もっと実績を積み上げて消費者に理解されるようにすべき（食品等事業者）
- ・農薬のポジティブリストの策定の場合、適用農薬、適用外農薬の分けをきちんとしてほしい（食品等事業者）
- ・もっと消費者や若い人の参加があった方が有意義である（食品等事業者）
- ・基礎的な知識の説明をもう少し詳しくやってほしかった（食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・多くの方に周知させるように努力していただきたい（食品等事業者）
- ・テーマを絞った方が良い（地方公共団体職員）
- ・会場参加者からの意見のポイントがずれている時は、コーディネーターが共通認識を持たせるように確認したらどうか（地方公共団体職員）
- ・食は全ての人の問題であり、やるから来いというのは勉強している消費者のためのものである（地方公共団体職員）
- ・リスクコミュニケーションという言葉が分かりにくい、個別テーマとしてやったらどうか（地方公共団体職員）
- ・健康食品に対しての意見が無かったのが残念（地方公共団体職員）
- ・リスクコミュニケーションという言葉が分かりにくいので、サブタイトルやキャッチコピーをつけてほしい（地方公共団体職員）
- ・会場に求める意見はもっとゆっくりにしてほしい（その他）

平成16年5月19日開催：大分県大分市

（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・もう少し意見交換の時間を増やしてほしい（消費者、食品等事業者、その他）
- ・具体例を入れた説明等を行ってほしい（消費者、食品等事業者）
- ・パネリストに女性がいない点（消費者）
- ・もっと広くリスクコミュニケーションを知らしめる必要がある（消費者）
- ・説明や回答が少々長過ぎ、論点がズレることがあった（消費者、食品等事業者）
- ・会場の質問等をもっと取り上げてほしい（消費者）
- ・テーマは開催地域のテーマで、もっと具体的に作る（消費者、食品等事業者）
- ・消費者の意見を取り入れるなど交流を図るべき（消費者）
- ・スライドや資料の文字が小さく見にくかった（消費者、食品等事業者）
- ・法はどのように施行するかであり、抽象論では発展しない（消費者）
- ・講演等にもっと地域（地元）の話を入れてもらえば理解が深められると思う（消費者）
- ・横文字の専門用語が多く分かりにくい（消費者）
- ・講演をもっと聞きたかった（消費者）
- ・ゆっくり話し合うようにしてほしい（食品等事業者）
- ・テーマはもっと具体的なものにしてほしい（食品等事業者）
- ・食品等事業者からの意見・問題点を話し合うことができればよかった（食品等事業者）
- ・食品別リスクの度合いをランキング別に表示するようできないか（食品等事業者）

- ・行政の行っていることをもっと分かりやすく説明してほしい（食品等事業者）
- ・食品等事業者を中心とした会合を設けてほしい（食品等事業者）
- ・上辺だけのものではなく、もう少し掘り下げたディスカッションをしてほしい（地方公共団体職員）
- ・コーディネーターは論点がズレたり、長過ぎる意見は止めるべき（消費者、地方公共団体職員、その他）
- ・基調講演のテーマを工夫するべき（地方公共団体職員）
- ・パネリストにマスコミ関係者や有名人等を消費者代表として加えたらどうか（地方公共団体職員）
- ・質問の意図を把握し、パネリストの方に説明を詳しくしてほしかった（地方公共団体職員）

平成16年6月30日開催：東京都港区 （食品中に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組に関する意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・賛成、反対と両意見を徹底的に話し合える場がほしい（消費者）
- ・説明は言葉をはっきりしてほしい。会場設備をきちんと整えてほしい（消費者）
- ・消費者に興味を持たせるようにする（食品等事業者）
- ・自己責任と行政責任の明確化（食品等事業者）
- ・パネリストが多過ぎる（食品等事業者）
- ・ディスカッションテーマを議事次第に入れてほしい（食品等事業者）
- ・同じ内容の質問が多い。事前にもっと簡素化すべき（食品等事業者）
- ・パネリストの発想のレベルがバラバラのため話がまとまらない。分科会を設けるべき（食品等事業者、その他）
- ・パネリストに発言しない人が多い（食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・会場の後方が聞き取りにくいこと（食品と事業者）
- ・説明者、パネリストによってはマイクの使い方が下手なので、事前に注意しておく必要がある（食品等事業者、その他）
- ・参加者の対象を区別しないと理解できない人がいる（食品等事業者）
- ・流通からの出席がほしい（食品等事業者）
- ・パネリストに検査機器精度に関する考察をできる人がいない点が残念（食品等事業者）
- ・もっと広く広報し、意見を集めるべき（食品等事業者）
- ・専門用語の説明を簡単に資料として配付してほしかった（食品等事業者）
- ・単なる質疑応答であった（食品等事業者、その他）
- ・発言時だけが発言しているか分かりにくい（食品等事業者）
- ・海外の代表者の参加を望む（食品等事業者）
- ・話が多岐にわたり論点がぼやけてしまう。テーマを絞るべき（食品等事業者）
- ・農薬や添加物が悪いものだと思っている人が多いのでその点のリスク、教育、啓蒙を増やしてほしい（食品等事業者）
- ・準備、時間配分が悪かった。説明者、パネリストの声が非常に聞き取りづらい（食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・説明が早口過ぎる（食品等事業者）
- ・各パネリストの論点がバラバラでかみ合っていない（地方公共団体職員）
- ・ポジティブリストとは少しずれた話が多かった（地方公共団体職員）
- ・パネリストは参加者全体に分かりやすい意見をすべきと思う。パネリストの人選が重要（地方公共団体職員）
- ・それぞれの意見・質問は事前に整理して参加すべき（地方公共団体職員、その他）
- ・円卓形式だと傍聴者が後方では話をつかみにくい。形式の変更を望む（地方公共団体職員）
- ・コーディネーターは発言者の論点をつかみ、次の発言者を指名して組み立てた議論をすべき（地方公共団体職員）
- ・基準値設定の話に偏り過ぎていた（その他）
- ・もう少し具体的な回答がほしかった（その他）
- ・消費者代表を増やすべき（その他）

平成16年8月6日開催：愛媛県松山市 （リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・参加者の意見を聞きたかった。意見をもっと求めてほしい（消費者）

- ・パネルディスカッションの時間が短い（消費者、食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・時間配分が良くない（消費者、地方公共団体職員）
- ・ディスカッションの内容がいつも中途半端で尻切れになっている（消費者）
- ・もっと意見交換が活発になるように考えてほしい（消費者）
- ・パネリストの説明は長いので、もっと簡潔にしてほしい（消費者）
- ・行政は消費者の疑問をよく聞いて、安全、安心を重点に実効すべき。立場だけを主張するものではない（消費者）
- ・迅速なコミュニケーションを行うためのシステムがない（消費者）
- ・パネリストの顔が見えない。スクリーンが見づかった（消費者）
- ・テーマとパネルディスカッションでの意見交換が食い違っていた。もっと事前の打合せが必要（消費者、地方公共団体職員）
- ・説明の時に具体例を出してほしい（消費者、食品等事業者）
- ・人数が多い分、意見交換する人数が限られている。少人数制でできないものか（消費者）
- ・本来の食の基本に立ち返ること、家庭での食事と大切に。食育を進めることが大切（食品等事業者）
- ・意見に対して言い訳じみた回答をするのではなく、もっと国民の意見に対する回答を（食品等事業者、その他）
- ・行政が表示問題は難しいでは困る。適切な指導をしてほしい（食品等事業者）
- ・食品衛生監視員が少な過ぎるのではないかと。増員が必要である（食品等事業者）
- ・監視指導の具体例や結果例が一つもない。資料も本当に必要なものだけ配付してほしい（食品等事業者）
- ・BSE、遺伝子組換え食品など危機感の大きいテーマがある中では、健康食品で行う説得力がない（食品等事業者）
- ・行政と消費者とのコミュニケーションは不成立だったと思う。行政がやったことが広報されただけである（食品等事業者）
- ・消費者の分かりやすい言葉で説明すべき（地方公共団体職員）
- ・講演内容が難し過ぎる初めての人には分からない（地方公共団体職員、その他）
- ・消費者には、はっきりと意見を言うべき（地方公共団体職員）
- ・事前にテーマを選定し、パネリストにもっと詳しい話をしてもらえば充実すると思う（地方公共団体職員）
- ・このような会をもっと広く広報すべき（その他）
- ・意見交換を中心にすべき。行政のアリバイ作りにしないでほしい（その他）
- ・国民の不安の目線にたったコメントが無かった（その他）

平成16年9月7日開催：岩手県盛岡市

（リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・パネリストが多過ぎる（消費者、食品等事業者）
- ・説明時間が長い。意見交換の時間をもっと確保してほしい（消費者、食品等事業者）
- ・意見交換の中で、良いことは良い、悪いことは悪いと言えるようにしてほしい（消費者）
- ・マスコミをもっと活用して宣伝すべき（消費者）
- ・行政は消費者に向けた取組をしていない。初めからゼロリスクは無いと言う前提の施策では国民は安心できる食生活は永遠に
ムリだろう（消費者）
- ・女性の参加者が少ない（食品等事業者）
- ・生産者と質問を交える時間をもっと増やしてほしい（食品等事業者）
- ・BSEの話題が多く畜産関係でない事業者にとっては理解が薄い。多くの話題を扱ってほしい（食品等事業者）
- ・専門家からの情報だけでなく、業界の方からの意見を取り入れることで問題がみえてくると思う（食品等事業者）
- ・パネリストからの意見や説明がばらけ、回答がまとまっていない（食品等事業者）
- ・パネリストに団体の代表だけでなく、一般消費者の方を入れたどうか（地方公共団体職員）
- ・意見交換は、限られた人の間でされており、自由な意見の交換という雰囲気ではなかった（地方公共団体職員）
- ・行政だけでなく、反対意見を持つ方をパネリストに入れたほうが良い（地方公共団体職員）
- ・テーマに関する説明内容を工夫すべき（地方公共団体職員）
- ・一般参加者にとって内容が難し過ぎるのではないかと。もっと優しい言葉を使って説明すべき（地方公共団体職員）
- ・一般消費者が少なかった。もっとPRを考えるべき（地方公共団体職員）
- ・意見交換に広がりが無かった（地方公共団体職員）
- ・パネリストの発言が一部の方に限られていた（地方公共団体職員）

- ・パネリストの意見で誤解があったように思う。もっと徹底した議論が必要なのではないか（地方公共団体職員）
- ・基調講演にもっと時間をかけてほしい（地方公共団体職員）
- ・パネルディスカッションは行政のみが回答している。もっと他の方にも回答していただいたほうが良い（地方公共団体職員）

平成16年9月17日開催：東京都中央区 （水銀を含有する魚介類等の摂食に関する注意事項の見直しに関する意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・参加者に偏りがあった（消費者）
- ・トピックが迷走していることが多い（消費者）
- ・厚労省からの回答はもっと簡潔に発表してほしい（消費者）
- ・一般参加者の意見をもっと聞くべき（食品等事業者）
- ・中立な立場で議論できる人間をパネリストにするべき（食品等事業者）
- ・資料にあるパネリストの発言は必要ない（食品等事業者）
- ・時間が足りない（食品等事業者）
- ・もっと意見をぶつけ合うべき（食品等事業者）
- ・厚労省の勉強不足。説明が曖昧で消費者の安全、健康の基準を任せているのかと思うと不安（食品等事業者）
- ・パネリストの発言時間が長い（食品等事業者）
- ・パネリストの発言機会を均等にすべき。発言時間が短いのでせかされている（食品等事業者）
- ・問題点をもっと絞って意見交換をするべき（食品等事業者）
- ・風評被害について、マスコミ関係者との意見交換会を行うべき。
- ・ポイントの外れた意見は途中で止めさせるべき（食品等事業者）
- ・水銀の摂取量等について、方針等を明確なものがほしい（食品等事業者）
- ・パネリストからの発言については、最初に3分間では短い（食品等事業者）
- ・今回は内容がマグロに偏っていた（食品等事業者）
- ・もう少し水銀に関する基礎情報を出してほしかった（食品等事業者）
- ・パネリストに発言の回数を制限すべきである（食品等事業者）
- ・テーマに対する説明が不適切で理解できない（食品等事業者）
- ・問題の解答には理由を十分に説明してほしい（食品等事業者）
- ・パネリストの選定はどのような方法をとっているのか（食品等事業者）
- ・説明について、資料を読んでいるだけなら必要はない（食品等事業者）
- ・終了時間が延びたこと（地方公共団体職員）
- ・業界側と消費者団体の意見は極論過ぎると思う（地方公共団体職員）
- ・会議の途中で、論点と各意見の整理をしてほしかった（地方公共団体職員）
- ・意見交換の時間をもっと取るべき（地方公共団体職員）
- ・対立している意見をどう収集していくかよく分からない（地方公共団体職員）
- ・生産者の意見が多く取り上げられていたように思える（その他）
- ・一方的な意見の応酬で終わった（その他）
- ・一般からの意見をもっと取り上げてほしい（その他）
- ・厚生労働省はもっとリスクコミュニケーションを行うべき。何でも内閣府に振るべきではない（その他）

平成16年10月13日開催：沖縄県那覇市 （リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・会場設営で、パネリスト等の顔が見えるようにする（消費者）
- ・同じテーマがだらだら続かないようにしてほしい（消費者）
- ・もう少し分かりやすい構成にしてほしい（食品等事業者）
- ・BSEに偏っている（食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・沖縄の食品についての話がなかった。食品全般に関する情報を幅広く公表してほしい（食品等事業者）

- ・消費者、事業者の目線に合わせた会をする（食品等事業者）
- ・事前準備が不足している。事前PRをもっと行い。多くの人の参加を望みたい（食品等事業者、その他）
- ・専門用語での質問が多く、一般参加者には理解しづらいところがある（地方公共団体職員）
- ・基調講演が行政的で具体的な事例が少なかった。具体的に健康食品の賢い選び方を教えてほしかった（地方公共団体職員）
- ・BSEの科学的根拠について説明不足（地方公共団体職員）
- ・BSEだけで良かったのではないか（地方公共団体職員）
- ・地方で開催するのに、説明者の地方の知識がなさ過ぎる（その他）
- ・本音で話してほしかった（その他）
- ・参加募集の申込みを東京ではなく、地方窓口を設けるべきである（その他）
- ・「科学的合理性」について、もっと一般参加者に分かるような言葉で説明してほしい（その他）

平成16年11月24日開催：岡山県岡山市 （リスク分析の概念を踏まえた食品安全行政の取組や健康食品についての意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・BSEについてはもっと時間をとってやってほしい（消費者）
- ・色々な話を聞いてよいが時間が掛かり過ぎる（消費者）
- ・質問途中のベルの音が気になった（消費者）
- ・テーマ、議題内容に対して時間が少な過ぎる（消費者、食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・パネルディスカッションについて、消費者には専門的知識は無いので、身近に感じられる発言にしてほしい（消費者）
- ・情報収集しにくい。会議の構成を考えてほしい（消費者）
- ・食の安全について、内閣府食品安全委員会、厚労省、農水省の権限が不明瞭（消費者）
- ・広く一般参加者を参加させるために新聞等で広報してほしい（消費者）
- ・開催についての告知が急であった（消費者、食品等事業者）
- ・パネリストから示唆を受けることが少ない（食品等事業者）
- ・BSEが健康食品と幅広くやるのではなく、テーマを絞って行うべき（食品等事業者、地方公共団体職員）
- ・質問に答えていないことがあった（食品等事業者）
- ・パネリストの発表時間が長かった。もう少しまとめてやってほしい（地方公共団体職員）
- ・2部、3部と合わせて形で一つの議題について検討したほうが良い（地方公共団体職員）
- ・もっと一般消費者を対象に行うほうが良い。リスクコミュニケーションという理解できない名称では参加しない（地方公共団体職員）
- ・パネリストからの話について、もっとポイントを絞っていれば全体のスケジュール運営に役立ったと思う（地方公共団体職員）
- ・パネリスト等は壇上に上がったほうが良い。顔が見えない（その他）
- ・参加者からの意見・質問をもっと増やしたほうが良い（その他）
- ・パネルディスカッション、意見交換の時間が短い（その他）

平成16年12月3日開催：横浜市 （輸入食品の安全性確保に関する意見交換会）

改善すべきと思う点

- ・テーマに沿った質問にもっと時間を割いてほしい。（消費者、食品等事業者、その他）
- ・テーマについて最初にきちんと説明すべき。（食品等事業者）
- ・ディスカッションはもっと絞るべき。（消費者）
- ・壇上の人々の発言が長く、簡潔にしてほしい。（その他）
- ・説明者の持ち時間が短いので、説明がはしょられてしまう。スライドを限定して絞ることも必要と思う。（食品等事業者）
- ・時間の配分（消費者）
- ・意見交換の時間が短い（消費者、地方公共団体職員）
- ・早口で聞き取りづらかった。（その他）
- ・蓋然性という言葉は専門的過ぎる。（その他）
- ・基礎的な説明等も必要（その他）
- ・時代とともに変動していく今後の見通しもほしい。（消費者）

もう少し事前に質問事項を出した項目に応えた形にしたら、特定の質問者に偏りが無くなる。(食品等事業者)

事前意見に回答があるものについては、回答に不満があるものだけ意見交換に応じればよいのでは。(消費者)

塩蔵野菜についての質問が多く出過ぎたこと(食品等事業者)

パネラーに生産者の参加があれば良かった。(食品等事業者)

同じ繰り返しが多い(地方公共団体職員)

「安全性を確保する」というよりは「不安を解消する」という視点で率直なコミュニケーションができればいいのではないか。(食品等事業者)

もっと危険性の高い問題(BSE、抗生物質 他)があるはず。その方が重要と思う。(その他)

参考資料のボリュームをもう少し減らす。(食品等事業者)

質問者の一人を「先生」と呼んだことに疑問を持った。ゲストとして紹介したらどうだったのか。(消費者)

資料の量が多いので、事前に配付してほしい(消費者)

意見交換の場をもう少し増やしてほしい。(消費者)

一般の方と専門の方との受け取り方に落差が大きいと感じる。専門的な事実を知りたい方には不満があり、一般の方には分からない人もいると思う。今後の検討が必要と思う。(食品等事業者)

パネルディスカッションでは、発言者ごとにマイクを置いたほうが良い。(マスコミ関係)

パネリストは壇上に設定すべき。会場の設営が悪い。(消費者)

パネリストが多過ぎる。(消費者)

後ろの席では、パネリストの名前が見えないので、後ろの壁にも名前を掲示したほうが良かった。(地方公共団体職員)

演者の選定(消費者)